



ミネルヴァ サイエンスライブラリー

MINERVA Science Library

2025年10月刊行開始！

四六判/ソフトカバー/ 200～280頁/
予価2200円(本体予価2000円+税)～

1 動物たちの「増え過ぎ」と絶滅を科学する 齊藤 隆 著 ISBN978-4-623-09936-8

シカ、クマ、サル、イノシシなどが田畑を荒らすばかりでなく、人を襲うようになりました。これらの動物が少し前までは絶滅が心配されていたことをご存じでしょうか。エゾシカは私が動物生態学を勉強し始めた頃（一九七〇年代）には「幻の動物」と言われていました。ヒグマも積極的な駆除によって、地域個体群が絶滅に追い込まれようとしていました。それが、今、郊外の道路を走るときはシカの飛び出しに注意し、山菜などを採りに森に入るときにはクマ除けの鈴を身に着ける

ことが欠かせなくなりました。〈中略〉
個体数の増え・減りへの理解は、個体群がなぜ絶滅しないのか、つまり持続可能性の解明に直結します。多くの動物たちは何百万年という時間を生き抜いてきました。絶滅しなかったもの、絶滅回避能力を持つものだけが生き延びているのです。その能力とは何か、どんな時にその能力が働かなくなるのか。それらを考えることはヒトの持続可能性を考える基盤になることを伝えたいと思います。（「はじめに」より）

理科 生物

2 ダニの共生戦略 白黒つけない、したたかな生き方 岡部貴美子 著 ISBN978-4-623-09959-7

こんにちは。ダニに興味はありますか？もしかしてダニの専門家？（まさかね）。
私が、研究者ではない方々にダニの話をする時は、まず「面白い話」から始めます。心のでに「わぁ～ダニって、キモっ」と、きつと警戒されているだろうなと、思ってしまうからです。「あ、聞いてもらえてる」と思えたら、私しか知らないネタを盛り込みます。このあたりで興味がある方は、「え～、ダニって〇〇ですか？（〇〇は「昆虫」だったり、「一種じゃないの」だったり）」などなど、質問してくれるので、そこから、「ダニって、

こんな生き物なんですよ」となります。
本は一方通行なので、最初に「ダニとは」について書きます。専門用語も、盛り込みました。せっかく読んでいただくなら、新しい知識があったほうがいいかなと。「別にダニ学者になるつもりはない」ですか？ 遠慮なく、面倒なところは、飛ばしてください。
この本は、それぞれの章の中でまとまるように、心がけましたが、一の次に二が来なくても大丈夫。ルール無用です。
では、一緒に。（「はじめに」より）

理科 生物

ミネルヴァ・サイエンスライブラリー	1 動物たちの「増え過ぎ」と絶滅を科学する				取扱店
	ISBN:978-4-623-09936-8	定価2200円(税込)	注文数	冊	
	2 ダニの共生戦略 白黒つけない、したたかな生き方				
	ISBN:978-4-623-09959-7	定価2200円(税込)	注文数	冊	
	定期のお申し込み（3巻以降）		注文数	各 冊	
ご住所 〒					
お名前					



ミネルヴァ書房

(本社) 京都市山科区日ノ岡堤谷町1 TEL.075-581-0296 FAX.075-581-0589
(東京) 東京都千代田区神田駿河台3-6-1 菱和ビルディング2階
TEL.03-3525-8460 FAX.03-3525-8461

*記載の情報は2025年9月時点(税込[10%])。 <https://www.minervashobo.co.jp/>

20250908000



2025年10月
刊行開始！

自然の謎と不思議を
知る楽しさ。



ミネルヴァ サイエンスライブラリー

MINERVA Science Library



読み物から始める
科学の面白さ。

中高生からの
科学探究シリーズ

創刊



シリーズ創刊2冊同時刊行

1

動物たちの「増え過ぎ」と絶滅を科学する

齊藤 隆 著

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター名誉教授

動物たちはなぜ絶滅しそうになったり、「増え過ぎ」たりするのだろうか。人間と野生動物の関わり合いの歴史を背景に、個体群生態学の基本的な考え方や発展の過程を探究します。

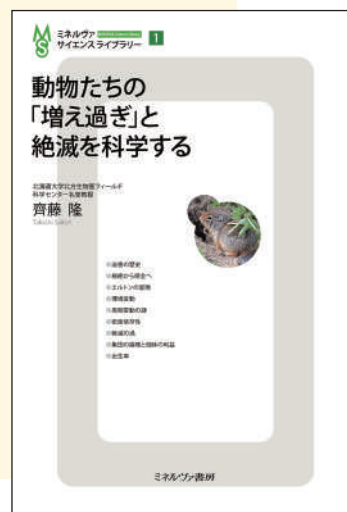
はじめに	第四章 絶滅に引きずり込まれる
第一章 動物は「増え過ぎ」なのだろうか	第五章 新しい社会に向かって
第二章 個体数変動の「発見」	おわりに
第三章 変動と持続性の秘密	索引

ISBN：978-4-623-09936-8

四六判 / 252頁・定価2200円(本体2000円+税) NDC468



持続可能性を **探究** する



シリーズのポイント

専門的な内容をわかりやすく。
最新の議論も紹介。

テーマは自然科学の中から縦横無尽に。
ルールは研究内容が面白いこと。

仮説を立てること、証明することの面白さを
実際の研究方法や失敗談を交えて紹介。

探究学習や自由研究の一助に。



刊行予定

3 海洋微生物で守る 海の「底」力——乙姫が微笑むアマモ場の再生に向けて 楠部真崇 著

ISBN：978-4-623-09968-9

2025年12月刊行予定

子供たちに海の楽しさを伝え、海洋環境保全にも全力投球。そんな深海微生物学者による、海のゆりかご「アマモ場」創出への道。

4 お耳の国のイチカ——聴覚をめぐる大冒険

ISBN：978-4-623-09996-2

濱西伸治 著

2026年1月刊行予定

おばあちゃんの耳かきで、ウトウトしていたイチカ。目を覚ますと、なんとそこは、おばあちゃんの耳の中！聴覚の不思議をめぐる、イチカの冒険が始まります。

5 理科の先生のメガネ——かけてみると世界が変わる

ISBN：978-4-623-09994-8

矢野充博 著

2026年2月刊行予定

理科の先生は特別な見方で世の中を見て、考えています。もし、理科の先生が見ている景色が見えるメガネがあれば、ちょっとかけてみたいと思いませんか？

6 主役で黒幕！スピンのすべて——古典力学から量子力学の不思議へ

ISBN：978-4-623-09995-5

畠山 温 著

2026年3月刊行予定

「スピン」は極微の世界を支配し、「スピン」があるから世界が成り立っていると言っても過言ではありません。身の回りの回転運動が持つ特徴を学びながら「スピン」の不思議な魅力を解説します。

7 ブラックホールは黒くない

＝以後続刊＝

村上弘志 著

2026年4月刊行予定

※刊行予定は2025年9月時点の予定です。タイトル・刊行順は変更する可能性があります。

2

ダニの共生戦略 白黒つけない、したたかな生き方

岡部貴美子 著

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所
生物多様性・気候変動研究拠点研究専門員

ダニは決してひっそり、静かに暮らしているだけではなく、異なる生物と白黒つけずにドライに共に生きている。思い悩んで時間を無駄にしない、日々を生きる。そんなダニの共生戦略を探究します。

はじめに	第四章 甲虫とダニの共生関係
序章 ダニという生き物	第五章 共生と生物多様性の保全
第一章 動物を利用するダニ	おわりに
第二章 ハナバチとコナダニの共生	ダニ・ムシ索引
第三章 ドロバチとダニの相利共生	

ISBN：978-4-623-09959-7

四六判 / 276頁・定価2200円(本体2000円+税) NDC485



生物多様性を **探究** する



科学と科学者のあいだには、知られざるドラマがある。

最先端の研究には未来を語るストーリーがある。

読み物から始める科学の面白さ。

自然の謎と不思議を知る楽しさを届けます。

